

FIX803

NET IMPRESS
AFXシリーズ用

インストラクションマニュアル

株式会社DTSインサイト

改訂履歴

版数	更新日付	内容	適用箇所
Rev. 01	2019/02/22	新規発行	-
Rev. 02	2020/06/12	UCB領域の書き込み対応	2-2-1-⑤ 2-4章
Rev. 03	2020/07/02	YDDファイルの制限について追加修正	2-4-1、4-2

ご利用上の注意

- ① 本製品は弊社NET IMPRESS 専用の定義体です。弊社NET IMPRESS 以外ではご使用にならないでください。
- ② 対象マイコンと定義体との対応を誤って使用すると、ターゲットシステムを破壊する恐れがあります。本製品のマイコンパックで対象となるマイコンをご確認してからご使用ください。
- ③ NET IMPRESS は、ターゲットシステムとのインタフェイス IC (NET IMPRESS 内部 IC) 電源用に数mAの電流をTVcc端子より消費いたします。
- ④ デバイスファンクション又は、ファンクション実行中には、SDカードの脱着は、行わないでください。実行中に、脱着してしまいますとSDカードを破壊する恐れがあります。

おことわり

- 1) 本書の内容の全部または一部を、無断転載することは禁止されています。
- 2) 本書の内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 3) 本書の内容について、ご不審な点やお気付きの点がございましたらご連絡ください。
- 4) 本製品を運用した結果の内容の影響につきましては、3) に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

© DTS INSIGHT CORPORATION All Rights Reserved.

Printed in Japan

目次

1. 概要	5
2. 仕様	6
2-1. 対象マイコンと仕様	6
2-2. 機種固有のパラメータ設定	8
2-2-1. 【Parameter Table 1 ウィンドウの設定】	8
2-2-2. 【Basic Operation ウィンドウの設定】	13
2-2-3. 【Parameter Table 2 ウィンドウの設定】	15
2-3. デバイスファンクションと実行機能	16
2-4. UCB領域	17
2-4-1. 概要	17
2-4-2. YDDファイル	17
2-5. デバッグインターフェイスのパスワード認証	18
2-5-1. 概要	18
2-5-2. パスワード	19
2-6. UCBのプロテクト解除	19
2-6-1. 概要	19
2-7. UCB領域の読み出し	20
3. ターゲットシステムとの接続と専用コネクタ	21
3-1. 信号一覧表	21
3-2. 代表的な接続例	22
3-3. 制御信号波形	24
3-4. プローブ	26
4. F I X 8 0 3 固有のエラーメッセージ	27
4-1. 概要	27
4-2. エラーメッセージ一覧	27

1. 概要

FIX803は、型名：AFXxxxのNET IMPRESSシリーズで使用可能な定義体です。

FIX803は、**Infineon社製：TC397XA-256F**を対象とする、これと同一のアルゴリズム・プロトコルで書き込み可能なフラッシュメモリ内蔵マイコンを対象とします。

AFXとターゲットの接続には、PHX400をご使用ください。(PLX420のライセンスが必要となります。)

その他のプローブケーブルについては、弊社又は代理店にお問い合わせください。

※ 本マニュアルで記載のあるNET IMPRESSは型名：AFXxxxの本体のことを指します。

< ご注意 >

必ずお客様がお使いになられるフラッシュメモリ内蔵マイコン用のマイコンパックと組み合わせてご使用ください。

書き込み方式の異なるマイコンに対するご利用は、ターゲットマイコン及びそれを含むユーザシステムを破壊する恐れがあります。

2. 仕様

2-1. 対象マイコンと仕様

特に記載なき項目は、NET IMPRESS 標準に準じます。

型名	F I X 8 0 3
ターゲットマイコン	F I X 8 0 3 M x x マイコンパックで規定
PFLASH メモリ容量	同上
DFLASH メモリ容量	同上
PFLASH *2 メモリアドレス	同上
DFLASH *2 メモリアドレス	同上
ターゲットインタフェース	JTAGインタフェース 1. 25M/2. 5M/5M/10M/20Mbps <input type="checkbox"/> MSBファースト <input checked="" type="checkbox"/> LSBファースト
デフォルト	F I X 8 0 3 M x x マイコンパックで規定
ベリファイモード	<input checked="" type="checkbox"/> FULLベリファイ <input checked="" type="checkbox"/> SUMベリファイ
デフォルト	F I X 8 0 3 M x x マイコンパックで規定
書き込み時のターゲット マイコン動作周波数	同上
マイコンの動作電圧	同上

対象マイコンの詳細は各種マイコンパックのユーザーズマニュアルをご参照ください

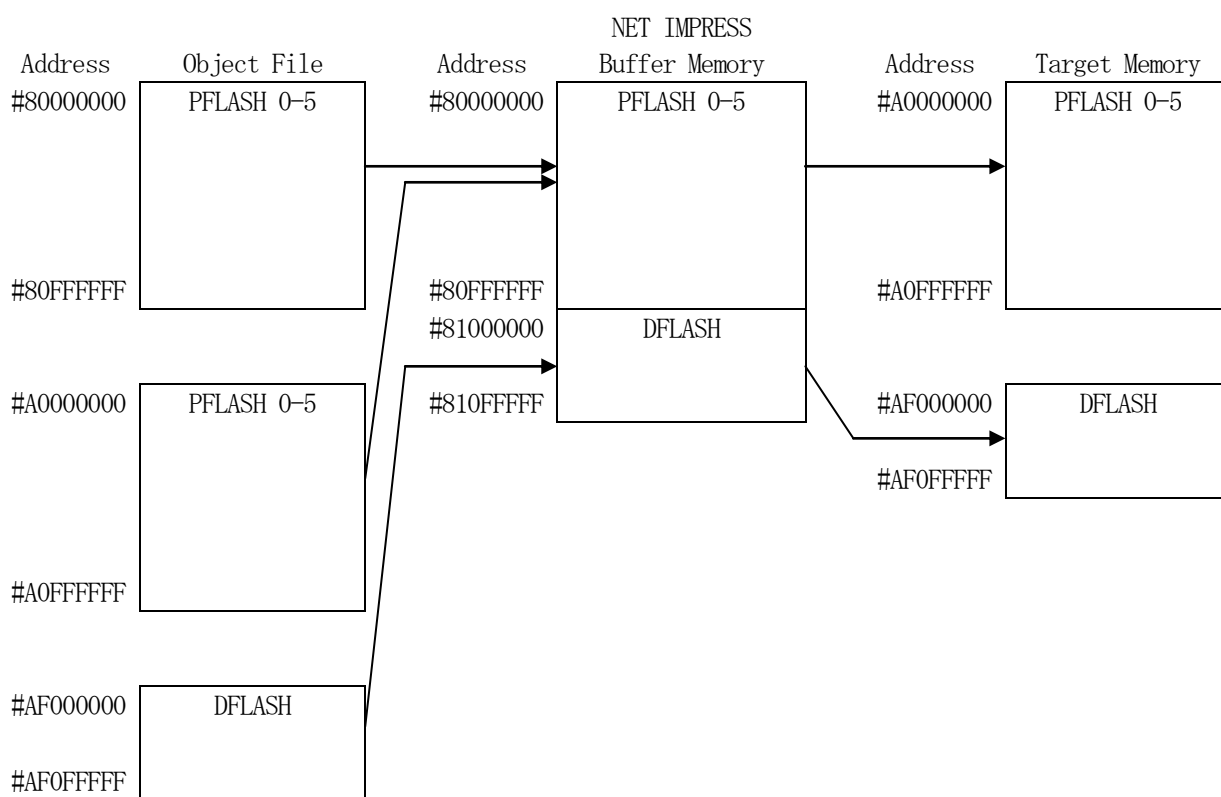
* 1 : 本定義体の対象とするマイコンでは、PFLASHメモリ、DFLASHメモリ等の複数のメモリ領域を持つものが存在します。

各メモリのアドレス空間をそのまま利用しライタのバッファメモリを構築するとバッファメモリが大きくなってしまうため、ライタ上では仮想のアドレスに変換して各メモリのデータを保持します。

また、Program Flashメモリ用のオブジェクトファイルがキャッシュアドレス、非キャッシュアドレス混在で生成されている場合は、1つのエリアへまとめて展開し、保持します。

マイコンへの書き込み時は、再度アドレスを変換して元のアドレスに戻して書き込みます。

下記にアドレス変換の例を示します。



NET IMPRESSのバッファメモリの見え方は以下表のようになります。

メモリ名称	本来の先頭アドレス	NET IMPRESSの バッファメモリ先頭アドレス
PFLASH0-5	#80000000 (キャッシュ) #A0000000 (非キャッシュ)	#80000000
DFLASH	#AF000000	#81000000

2-2. 機種固有のパラメータ設定

SWX600（リモートコントローラ：Windows上で動作）を利用して次の初期設定を行います。リモートコントローラのご利用方法については、SWX600：リモートコントローラのインストールアクションマニュアルをご参照ください。

2-2-1. 【Parameter Table 1 ウィンドウの設定】

Parameter Table 1 画面上で、ターゲットマイコンにあったパラメータ設定を行います。

The screenshot displays the SWX600 Version 1.00 software interface. The main window is titled "Current IMPRESS Module" and shows the selected module as "FIX803.YIM". Below this, there are three tabs: "MCU TYPE" (FIX803), "Definition Program License" (FIX803), and "MICOM PACK No." (FIX803Mxx). The "Configuration" tab is active, and within it, the "Parameter Table 1" sub-tab is selected. The interface is divided into several sections:

- MCU Type:** A text box containing "FIX803".
- TVcc Threshold:** A text box with "2.7" and a unit "[V]".
- MCU Clock Frequency:** A text box with "8.0" and a unit "[MHz]".
- MCU Operation Mode:** A text box with "0000".
- WDT Clock Period:** A text box with "20" and a unit "[ms]".
- BufferRAM Initialize Mode:** A dropdown menu set to "KEEP".
- SUM Check Mode:** A dropdown menu set to "8/8bit".
- ROM Block Configuration:** A button labeled "Setting".
- Flash ROM Area:** Two text boxes for "First Address" (80000000) and "Last Address" (810FFFFFF).
- Buffer Area:** Two text boxes for "First Address" (80000000) and "Last Address" (810FFFFFF).
- RAM DISK Area:** Two text boxes for "First Address" (80000000) and "Ram Disk Size" (00000000).
- Data Communication:** A section with "Interface" set to "JTAG" and "Baud Rate" set to "10M" bps.

On the right side of the window, there are several control buttons: "Communication Check", "Execute YMN", "OK", "Cancel", and "Exit". At the bottom right, there are two informational boxes: "SWX600 Version" (1.00) and "Probe Select Info" (PROBE1).

①TVcc Threshold

ターゲットマイコンの動作電圧の下限値から0.1V程度低い値を設定頂くことを推奨致します。
NET IMPRESSは、ターゲットマイコンの動作電圧 (TVcc) を監視しており、この電圧がここで設定する電圧値以上の時に、デバイスファンクションを実行します。
NET IMPRESSでのTVccスレッシュホールドの設定は、NET IMPRESSの操作マニュアル (スタンドアロン) をご参照ください。

②Flash ROM【First/Last Address】

マイコンに内蔵されているフラッシュメモリ領域 (First/Last Address) を設定してください。
NET IMPRESSでのキー操作では、Flash ROMの設定はできずに、表示のみとなります。
NET IMPRESSの操作マニュアル (スタンドアロン) をご参照ください。

③ROM Block Configuration

フラッシュメモリのブロック構成を設定します。

< ブロック情報テーブル >

ブロック情報テーブルは、ブロックグループNo.、ブロックグループのスタートアドレス、ブロックサイズの3情報からなります。

ブロックグループNo. : Group1~Group14までの14Groupが指定できます。
連続したブロックサイズの等しい一群のブロックを一つのブロックグループとして、アドレスの小さい方から、小さい番号のブロックグループ番号を付与します。

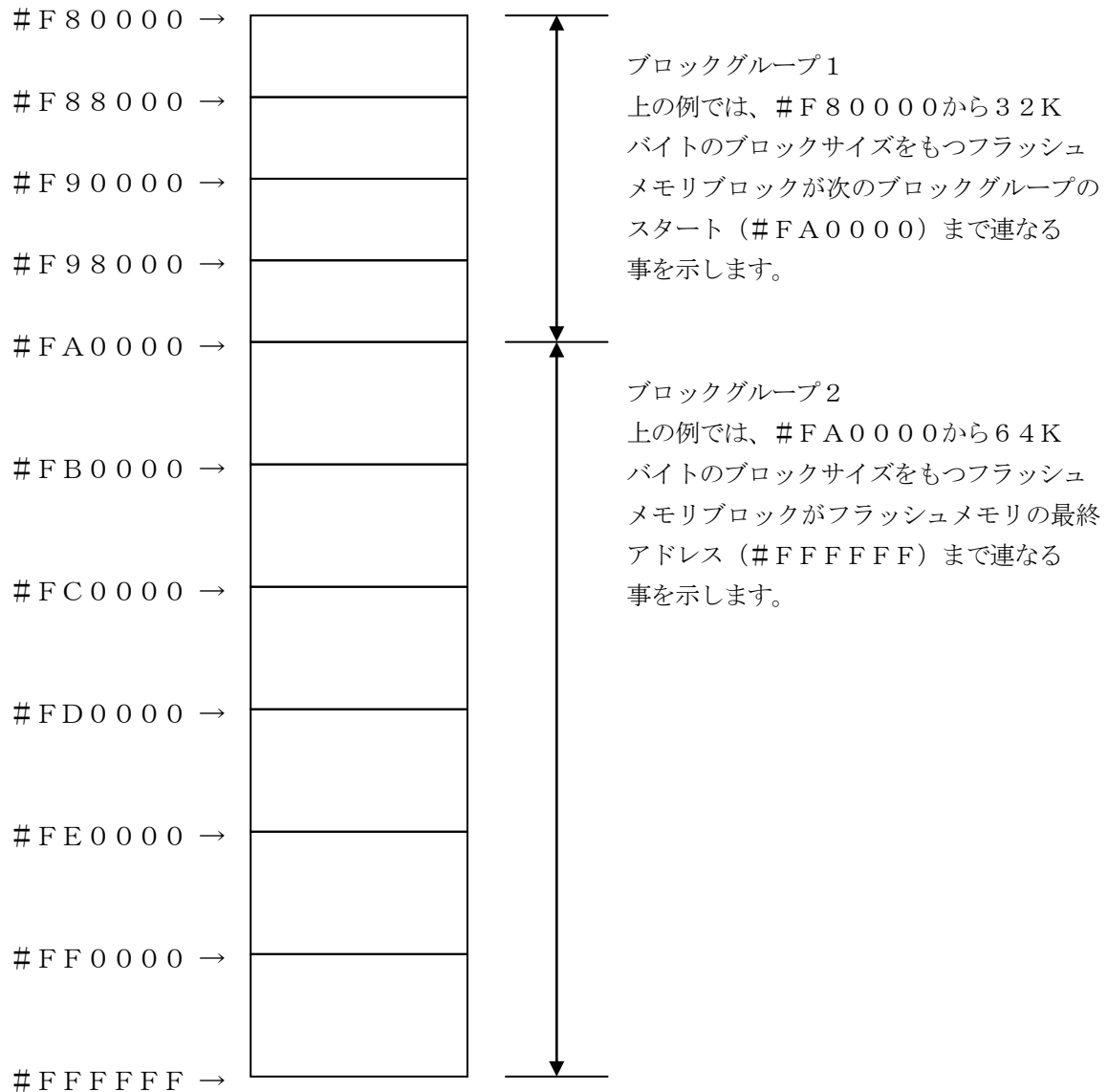
スタートアドレス : ブロックグループの開始アドレスです。
このアドレスからブロックサイズで定められた大きさのブロックが連続して並び、一つのブロックグループを構成します。

ブロックサイズ : NET IMPRESSは、次の (ブロック) グループアドレスまで、このブロックサイズで定められたサイズのブロックが連続して配置されるものと解釈されます。
また、**ブロックサイズを1にするとアクセス禁止領域**となります。アクセス禁止領域はデバイスファンクション実行領域内でも、書き込み・消去等が実行されません。

例)

ブロックグループNo.	スタートアドレス	ブロックサイズ
1	#00F80000	#00008000
2	#00FA0000	#00010000
3	#00000000	#00000000

スタートアドレス



④MCU Clock Frequency

本コントロールモジュールでは、設定は不要です。

⑤MCU Operation Mode

UCBの処理設定を行います。

UCB処理の詳細については2-4章をご参照ください。

値	LCD	E.P.R			
0000	St'd	UCB書き込み無効			
0001	Opt.1	UCB書き込み有効			
0010	Opt.2	UCB書き込み無効、UCBプロテクト解除			
0011	Opt.3	UCB書き込み有効、UCBプロテクト解除			

⑥WDT Clock Period

NET IMPRESSは、オンボードプログラミング中に定周期のクロックパルスを出力する機能を持っています。この周期を利用する場合はWDT周期の設定を行います。

定周期パルスは、3-1信号一覧表のWDT（22ピン端子）信号から出力されます。

NET IMPRESSでのWDT設定は、NET IMPRESSの操作マニュアル（スタンドアロン）をご参照ください。

⑦Data Communication

NET IMPRESSとターゲットマイコン間の通信設定を指定します。

本コントロールモジュールでは、ウィンドウの各項目を次のように設定してください。

• Interface

JTAGを選択してください。

NET IMPRESSでの通信路設定は、NET IMPRESSの操作マニュアル（スタンドアロン）をご参照ください。

• Baud Rate

通信速度を設定します。

NET IMPRESSでのJTAG通信速度設定は、NET IMPRESSの操作マニュアル（スタンドアロン）をご参照ください。

⑧MCU Type

この項目へ設定された内容が、ウィンドウ左上部のMCU Type及びNET IMPRESS 本体上に表示されます。

マイコンの型名、お客様の装置型名など任意の文字を16桁まで入力できます。

NET IMPRESSでの表示型名変更は、NET IMPRESSのNET IMPRESSの操作マニュアル（スタンドアロン）をご参照ください。

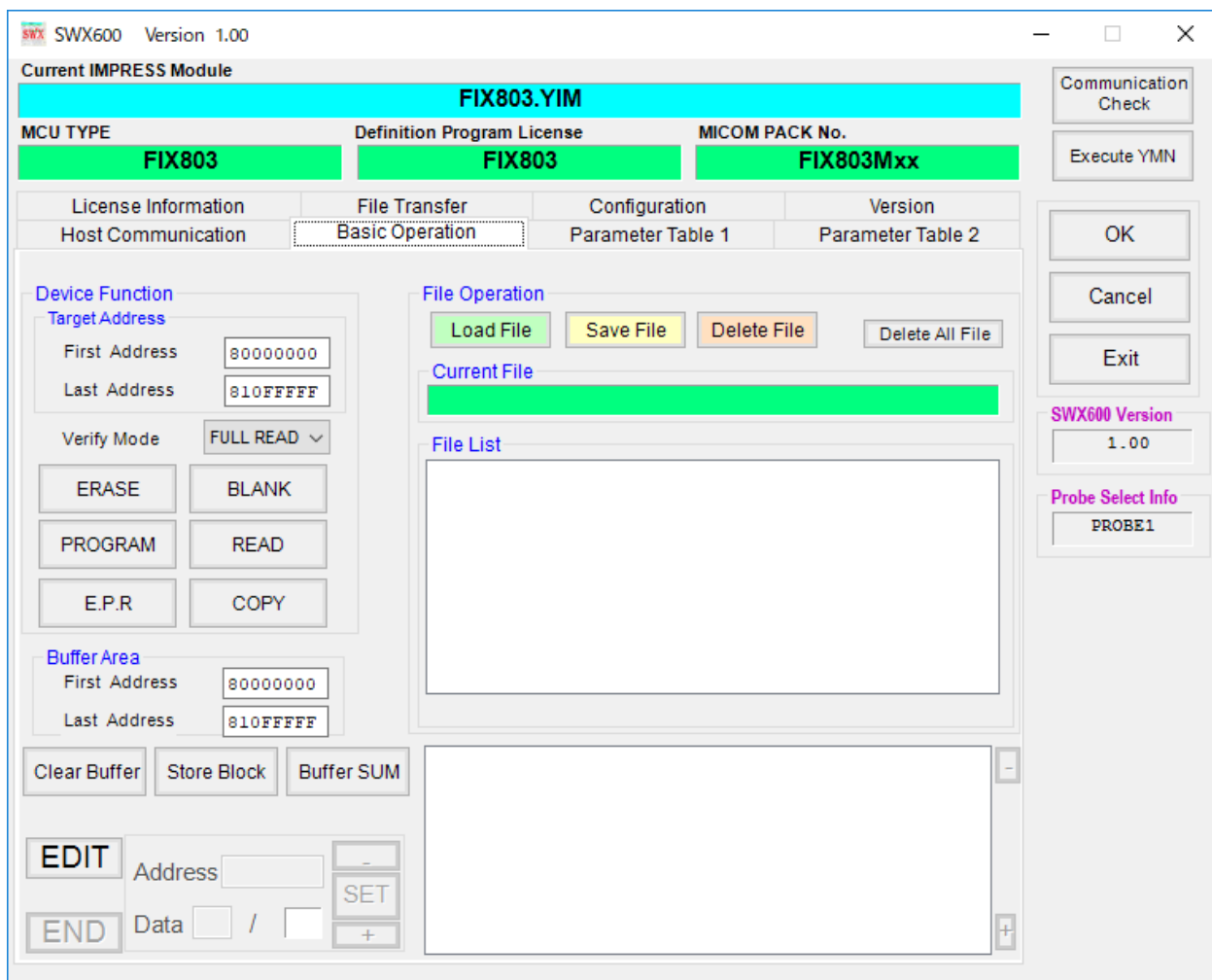
⑨OK

Parameter Table 1ウィンドウ内容を、コントロールモジュールに転送するキーです。①～⑧の設定変更後は、他のウィンドウに移る前に必ず、OKキーを押してください。

OKキーが押されなければ、変更したパラメータは反映されません。

2-2-2. 【 Basic Operationウィンドウの設定 】

Basic Operationウィンドウ上では、次の3項目の設定を行います。



①Device Function

マイコンへのデバイスファンクションの対象領域を設定します。

通常は、2-2-1. ②項のFlash ROM領域と同じ設定にします。

デバイスファンクションアドレスは、その設定アドレス値によりフラッシュメモリのブロック境界アドレスに自動アライメントされます。

この自動アライメントされた領域に対して、デバイスファンクションが実行されます。

②Buffer Area

NET IMPRESSのバッファメモリ上のデータをセーブ・ロードする領域を設定します。

通常は、2-2-1. ②項のFlash ROM領域と同じ設定にします。

③Verify Mode

E. P. R、PROGRAM実行時のベリファイモードを設定します。

デバイスファンクションE. P. R、Program時に実行されるRead Verifyは、Verify Modeで設定されているリードベリファイが実行されます。NET IMPRESSでのベリファイモード設定は、NET IMPRESSの操作マニュアル（スタンドアロン）をご参照ください。

・SUM READ

マイコンからProgramを行った領域のSUM値を読み出し、プログラマがProgram時に転送した書き込みデータのSUM値と比較します。

・FULLREAD

プログラマがマイコンへProgramを行った領域のデータを送信し、マイコン側でフラッシュメモリデータとの比較を行います。

④OK

ウィンドウ内容を、コントロールモジュールに転送するキーです。

①～③の設定変更後は、他のウィンドウに移る前に必ず、OKキーを押してください。

OKキーが押されなければ、変更したパラメータは反映されません。

2-2-3. 【 Parameter Table 2 ウィンドウの設定 】

この設定ウィンドウには、マイコン固有パラメータが設定されていますので、変更しないでください。
 設定変更が必要な場合は、事前に必ず弊社サポートセンタまで、ご相談ください。

SWX600 Version 1.00

Current IMPRESS Module

FIX803.YIM

MCU TYPE: **FIX803** Definition Program License: **FIX803** MICOM PACK No.: **FIX803Mxx**

License Information: Host Communication File Transfer: Basic Operation Configuration: Parameter Table 1 Version: Parameter Table 2

Specific Parameter for this Micom Pack

	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	0A	0B	0C	0D	0E	0F	
0C0:	03	30	04	00	00	00	00	00	27	10	00	00	00	00	00	00	.0.....'.....
0D0:	40	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	@.....
0E0:	02	C4	E0	F0	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	50	P
0F0:	80	64	02	00	AF	40	00	00	00	30	E0	00	70	10	00	00	.d...@...0..p...
140:	01	0F	06	84	00	00	00	00	00	00	EF	FF	00	00	00	00
600:	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	80	00	00	00
610:	00	00	00	00	01	00	00	00	01	10	00	00	00	00	00	00
620:	80	00	00	00	AF	00	00	00	AF	40	00	00	A0	00	00	00@.....
630:	01	00	00	00	00	10	00	00	00	00	60	00	00	00	00	00`.....

- WARNING -
 These parameter should not be changed.
 Contact to DTS INSIGHT in details.

Communication Check
 Execute YMN
 OK
 Cancel
 Exit

SWX600 Version
 1.00

Probe Select Info
 PROBE1

2-3. デバイスファンクションと実行機能

NET IMPRESSのデバイスファンクション起動時に実行される機能は以下のとおりです。

デバイスファンクション		ERASE	BLANK	PROGRAM	READ	E. P. R	COPY
対象メモリ域	Flash ROM Area設定によるフラッシュメモリ一部領域	○	○	○	○	○	○
	フラッシュメモリ全領域	○	○	○	○	○	○
	ブロックコンフィグレーションによる書き込み禁止	○	○	○	○	○	○
フラッシュメモリに対する実行動作		<input checked="" type="checkbox"/> Erase <input checked="" type="checkbox"/> Blank	<input checked="" type="checkbox"/> Blank	<input type="checkbox"/> Erase <input type="checkbox"/> Blank <input checked="" type="checkbox"/> Program <input checked="" type="checkbox"/> Read	<input type="checkbox"/> Read <input checked="" type="checkbox"/> Read	<input checked="" type="checkbox"/> Erase* ¹ <input checked="" type="checkbox"/> Blank* ¹ <input checked="" type="checkbox"/> Program <input checked="" type="checkbox"/> Read	<input checked="" type="checkbox"/> Copy <input checked="" type="checkbox"/> Read
備考							

*1：直前のBlankでブランク状態と判定された場合はEraseとBlankは実行しません。

2-5. デバッグインターフェイスのパスワード認証

2-5-1. 概要

UCBの設定でデバッグインターフェイスのアクセス禁止設定を行う事ができます。

UCB_DBG_ORIG, UCB_DBG_COPYに設定値を書き込む事で有効にすることができます。

対象の領域

UCB	Address	Size
UCB18 (UCB_DBG_ORIG)	0xAF402400	512 byte
UCB26 (UCB_DBG_COPY)	0xAF403400	512 byte

UCB の設定項目

設定	Address	内容
DMU_HF_PROCONDBG (PROCONDBG)	0xAF402400	PROCONDBG 設定
UCB_DBG_ORIG_PW (PW0)	0xAF402500	Password 0
UCB_DBG_ORIG_PW (PW1)	0xAF402504	Password 1
UCB_DBG_ORIG_PW (PW2)	0xAF402508	Password 2
UCB_DBG_ORIG_PW (PW3)	0xAF40250C	Password 3
UCB_DBG_ORIG_PW (PW4)	0xAF402510	Password 4
UCB_DBG_ORIG_PW (PW5)	0xAF402514	Password 5
UCB_DBG_ORIG_PW (PW6)	0xAF402518	Password 6
UCB_DBG_ORIG_PW (PW7)	0xAF40251C	Password 7
UCB_DBG_ORIG_CODE (CONFIRMATION)	0xAF4025F0	UCB セクタの状態

PROCONDBG レジスタ

RES	UCB Reserved	TIC	UCB Reserved	EDM	DBGIFLCK	OCSDIS
-----	-----------------	-----	-----------------	-----	----------	--------

DMU_HF_PROCONDBG に DBGIFLCK ビットを 1 に設定するとデバッグインターフェイスのロックが有効になります。解除するためには UCB_DBG_ORIG_PW に設定するパスワードを使用して認証する必要があります。

2-5-2. パスワード

UCB_DBG_ORIG/COPYエリアに設定されたパスワードは、拡張子DPWファイルにて解除処理を実施することができます。

Sレコードにデータを格納し、アドレスは無視されます。

パスワードデータはPW0~PW7の32バイトとなり、DPWファイルに格納されたデータが32バイトに満たない場合はエラーとなります。

YIMフォルダにDPWファイルがあればパスワード認証の処理を行います。

UCB_DBG_ORIG パスワード書込用 YDD ファイル例

ヘッダ	サイズ	アドレス	データ	チェックサム
S3	15	AF402400	02000000000000000000000000000000	D5
S3	15	AF402500	010203040202020203030304040404	A8
S3	15	AF402510	05050505060606060707070708080808	5E
S3	15	AF4025F0	34122143000000000000000000000000	3C

パスワード解除用 DPW ファイル例は以下となります。

ヘッダ	サイズ	アドレス	データ	チェックサム
S1	13	0000	010203040202020203030304040404	BE
S1	13	0010	05050505060606060707070708080808	74

2-6. UCBのプロテクト解除

2-6-1. 概要

UCBに設定されたプロテクト解除を行う事ができます。

YIDファイルはYIMフォルダに1つだけ配置することとします。2つ以上存在する場合はエラーとします。

UCB領域のアドUCBのパスワード格納領域に書き込まれたパスワードデータを、拡張子YIDファイルにて解除処理を実施することができます。

YIDファイルには32バイトのパスワードのみをアドレス順に、Sレコードにデータを格納してください。

パスワード用 YID ファイル例

ヘッダ	サイズ	アドレス	データ	チェックサム
S3	15	AF402300	010203040202020203030304040404	AA
S3	15	AF402310	05050505060606060707070708080808	60

2-7. UCB領域の読み出し

【FUNC 82】を使用してUCBブロックのデータを読み出し、ファイルに出力することができます。出力されるファイル名は“YUCBDAT0.S”で、フォーマットはSレコードとなります。

3. ターゲットシステムとの接続と専用コネクタ

3-1. 信号一覧表

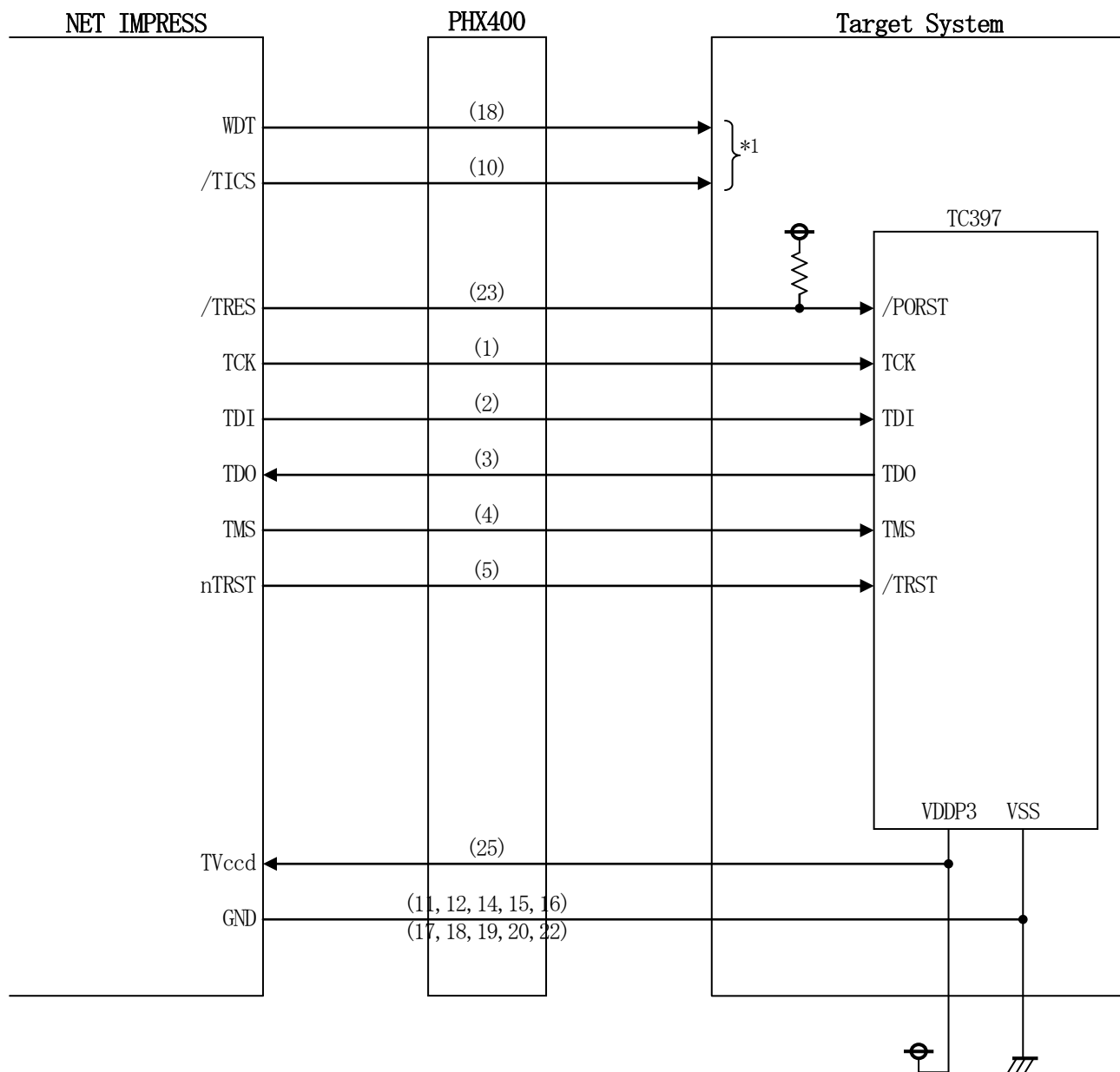
本コントロールモジュールをご利用いただいた場合のターゲットプローブコネクタ端の信号表を示します。

マイコン信号名	NET IMPRESSの標準信号名				マイコン信号名
TCK	TCK	①	①④	GND	VSS
TDI	TDI	②	①⑤	GND	VSS
TDO	TDO	③	①⑥	GND	VSS
TMS	TMS	④	①⑦	GND	VSS
/TRST	nTRST	⑤	①⑧	GND	VSS
	RDY	6	①⑨	GND	VSS
	TAUX3	7	②⑩	GND	VSS
	TAUX4	8	21	TMODE	
	VCC	9	②②	GND	VSS
マルチ用途信号	/TICS	(10)	②③	/TRES	/PORST
VSS	GND	①①	(24)	WDT	ウォッチドッグパルス信号
VSS	GND	①②	②⑤	TVccd	VDDP3
	PROBE SELECT	13			

ターゲットプローブ信号表 (FIX803)

- は、必ず接続頂く信号線です。
- () は、必要な時のみ接続してください。
- も () も印のない信号線はターゲットシステムの回路には接続しないでください。
詳細については、弊社サポートセンタにお問い合わせください。
- 各信号線のインタフェース回路については、プログラマ本体の『Instruction Manual』をご覧ください。

3-2. 代表的な接続例



ターゲットシステムとの接続例

* 1 : オプション機能です。

- ① “書き込みモード信号” など一部の書き込みに使用する信号がユーザシステムとの共用端子に定義されている場合には、それらの信号のマルチプレクス回路をユーザシステムに実装してください。
／T I C S信号は、NET IMPRESS のデバイスファンクション実行時にだけアサートされる信号です。

この信号によって共用端子に実装される信号切り替えを行います。

マルチプレクス回路をユーザターゲットシステムにいていただくことにより、／T I C Sがネゲートされている時（デバイスファンクションを実行していない時）にNET IMPRESS が接続されていない（コネクタを外した）状態と同一の条件をつくることができます。

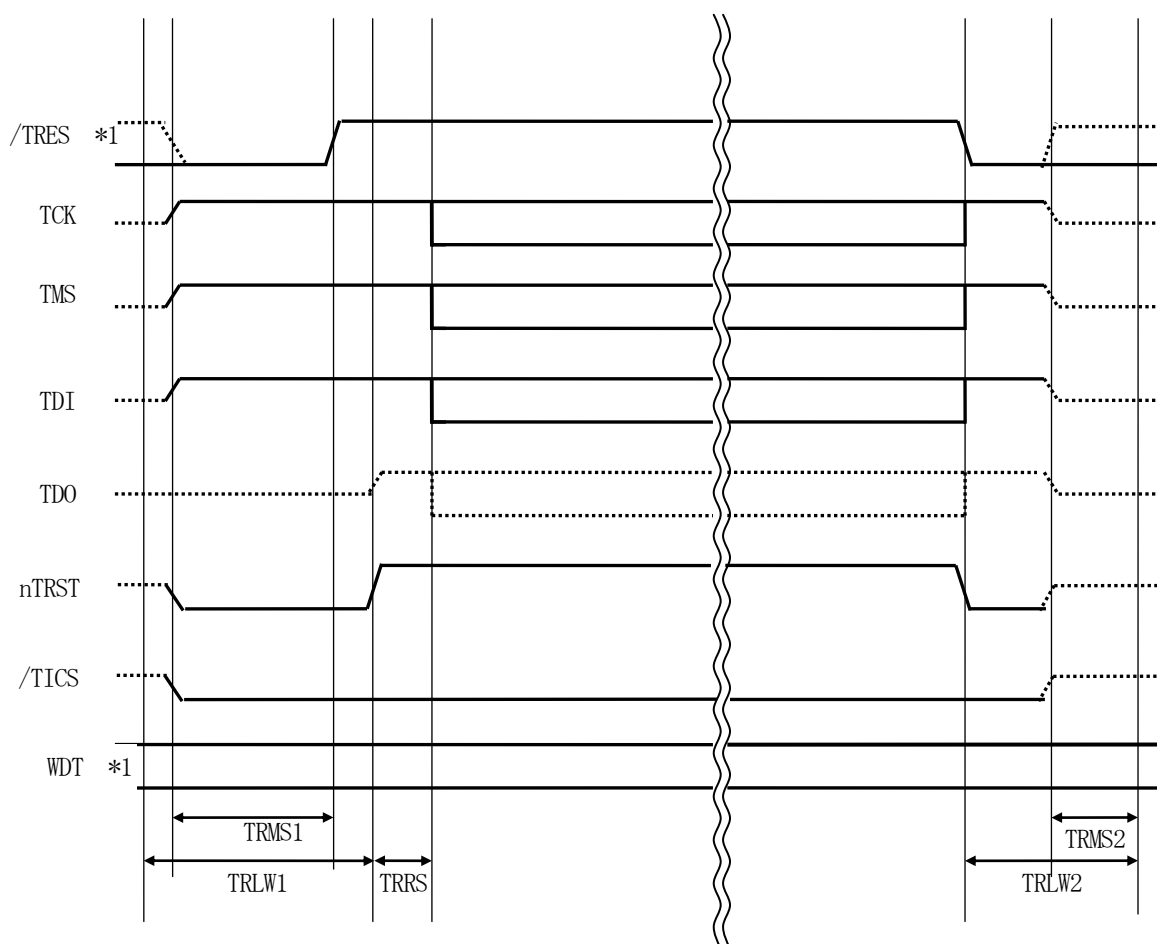
書き込み制御に使われるこれらの信号が、フラッシュマイコンから制御用専用信号線として定義されるターゲットシステムでは、マルチプレクス回路は不要です。

- ②WDT信号端子には、WDT P e r i o dで設定されたクロック信号がNET IMPRESS より出力されます。（常時出力）（オープンコレクタ出力）
フラッシュメモリ書き込み中に、所定のクロック信号が必要なユーザ回路へ接続しご利用ください。

- ③NET IMPRESS では、標準プローブ中に／TRES信号を設けてあります。

／TRES信号は、ターゲットシステム内でワイヤードオアをとり、マイコンの／RESET端子に接続して頂けるよう、オープンコレクタ出力の信号としています。

3-3. 制御信号波形



	ライタ仕様
TRLW1	300ms (min)
TRLW2	100ms (min)
TRMS1	200ms (min)
TRMS2	50ms (min)
TRRS	100us (min)

“.....” は、Hi zを示します。

*1 WDTはオープンコレクタ出力です。

【動作手順】

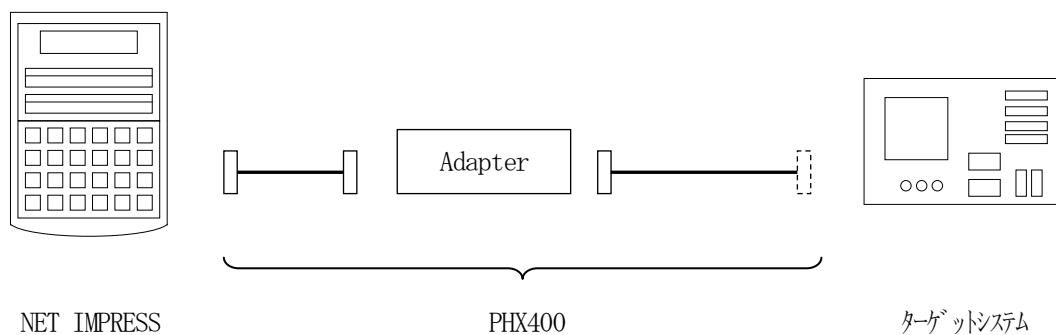
- ①フラッシュプログラムの電源投入後、ターゲットシステムの電源を入れてください。
プログラムは電源投入直後から／TRESをアサートし、WDT信号の出力を開始します。
- ②デバイスファンクションの実行によって／TICSがアサートされ、フラッシュプログラム用の通信チャンネルがターゲットシステム上でフラッシュプログラム側に接続されます。
(フラッシュプログラム用の通信チャンネル及び、関連信号が他のユーザ回路から独立して常時フラッシュプログラムに専有されるシステムでは、本信号による信号切り替えは必要ありません)
- ③マイコンのプログラミングモードが起動され、規定の通信回線を使ってNET IMPRESSとの通信を始めます。通信は、あらかじめ設定されている通信条件で行います。
- ④デバイスファンクション終了後、／TICSをネゲートします。
デバイスファンクション非実行中は／TRESは常にアサートし、WDT信号は常時出力します。

3-4. プローブ

弊社では、標準プローブとしてPHX400を用意しております。各プローブのご用命は、弊社又は弊社代理店までご相談下さい。

各プローブの仕様は、NET IMPRESS インストラクションマニュアルまたは、弊社ホームページをご参照ください。

下図にPHX400の構成概要を示します。



ユーザターゲット側末端は、コネクタが付いていません。お客様のターゲットシステムにあわせて、コネクタを付けて頂く必要があります。

4. F I X 8 0 3固有のエラーメッセージ

4-1. 概要

信号線の接続やパラメータ設定の誤りに対して、デバイスファンクション実行時に、特別なエラーメッセージを出力されます。

本章に記載されている以外のエラーメッセージは、NET IMPRESSのインストラクションマニュアルをご参照下さい。

4-2. エラーメッセージ一覧

<表 7-1. 機種固有のエラーメッセージ一覧>

エラーメッセージ	エラー要因/対策	
1121 DEVICE CONNECTION FAILED	要因	ターゲットとの接続に失敗しました。
	対策	正しく接続されているかご確認ください。
1125 MORE 2 YDD FILES	要因	YDDファイルが2つ以上存在します。
	対策	YDDファイルは1つだけ配置してください。
1126 YDD FILE FORMAT ERROR	要因	YDDファイル形式に異常があります。
	対策	YDDファイルの内容をご確認ください。
1127 YDD FILE SIZE ERROR	要因	YDDファイルサイズが大きすぎます。
	対策	YDDファイルのデータを削減し、最大サイズを超えないようにしてください。
1128 YDD FILE NOT FOUND ERROR	要因	YDDファイルが存在しません。
112A MORE 2 YID FILES	要因	Y I Dファイルが2つ以上存在します。
	対策	Y I Dファイルは1つだけ配置してください。
112B YID FILE FORMAT ERROR	要因	Y I Dファイル形式に異常があります。
	対策	Y I Dファイルの内容をご確認ください。
112C YID FILE NOT FOUND ERROR	要因	Y I Dファイルが存在しません。
113E JTAG ADAPTER ERR	要因	J T A G制御に失敗しました。
	対策	プローブ及びアダプタが正しく接続されているかご確認ください。
1140 PHX400 ADAPTER CONNECT ERR	要因	PHX 4 0 0の初期化に失敗しました。
	対策	プローブ及びアダプタが正しく接続されているかご確認ください。
ERR-NO. 0x1141 PHX400 ADAPTER CONNECT ERR	要因	PHX 4 0 0との通信に失敗しました。
	対策	プローブ及びアダプタが正しく接続されているかご確認ください。